



おやつを楽しみ葛巻保育園の園児

ヤマブドウ振興に一役 地産地消パンはいかが

葛巻高原食品加工株式会社（社長・中村哲雄町長）のヤマブドウジャムを使った2種類の菓子パンが、盛岡市の白石食品工業（白石茂社長）から期間限定で販売されています。

生産量が増えている県産ヤマブドウの消費拡大に結び付けようと県が仲介し、モデル的に支援・連携して「地産地消パン」の商品化が実現。葛巻高原食品加工は3月24日、町内の保育園児にヤマブドウジャムとマーガリンをはさんだサンドイッチを贈りました。同社の漆真下満常務は「ヤマブドウ振興のために地元での消費拡大は大切なこと。子どもたちに地元のジャムを味わってもらいたい」と話していました。商品は、4月30日まで東北6県のスーパーやコンビニエンスストアで販売中です。

公社クリームチーズ 特産品生かし局長賞

町畜産開発公社（理事長・中村哲雄町長）が製造販売している「くずまき高原クリームチーズ山ぶどう味」が、平成17年度優良ふるさと食品中央コンクール（農林水産省、(財)食品産業センター共催）で、農林水産省総合食料局長賞（国産畜水産品利用部門）に輝きました。

コンクールは全国各地のふるさと食品の品質向上や地域活性化を目的に開かれているもので、4部門で優良食品を表彰。公社の新鮮な生乳をふんだんに使い、特産のヤマブドウ果汁を練り込んだこのチーズは、口当たりの滑らかさとデザート感覚で味わえるのが特徴。工場稼働から2年、農林水産大臣賞に次ぐ賞の快挙に職員は喜びでいっぱいです。



「製品開発にお力添えくださった皆様のお陰です」と感謝し、受賞を喜び職員



新区分でスキー大会 99人がゴール目指す

第三十二回町民スキー大会（町教委・町体育協会主催）は二月二十六日、平庭高原スキー場で開かれ、小学一年生から七十三歳までの選手九十九人が出場しました。

今年から小中学校スキー大会が廃止され、小学生も町民スキー大会へ移行し、出場区分も変更しました。小学校は三年生以下の児童も出場できるように、一二年生がA、三四年がB、五六年がCクラス。高校・一般の部は、年代別に男女各二クラスに分けられました。



全力で滑降する選手
（小学校女子C）

選手は、レース途中からの雨にぬれながらも保護者ら観客が見守る中、懸命にゴールを目指し、タイムを競い合いました。各クラスの優勝者は、次の方々です。（学校名・学年は大会開催時）



三澤遼君
（馬淵小2年）

小学校男子A
記録43秒24



大上悠莉さん
（江刈小2年）

小学校女子A
記録52秒35